

会報神奈川

平成 23 年 10 月 1 日

発行責任者

会 長 瀬 尾 剛 良

〒 211-0025 川崎市中原区木月 1-20-1

電話 044 (411) 4344

<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮



鎮魂



祈り



福島県いわき市 千度大祓

御見舞

東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々に衷心より哀悼の意を表します。被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



神奈川県神道青年会

「修理固成」

神奈川県神道青年会 会長 瀬尾剛良



この度、第二十三代会長を仰せつかりました瀬尾剛良です。どうぞ、宜しくお願い致します。

私達の御祖神が残してくださった日本人の心、規範である神典「古事記」の初めに『修理固成の神勅』という有名なお話があります。

「ここに天つ神諸の命もちて、伊邪那岐命・伊邪那美命二柱の神に、『このただよへる国を修理り固め成せ』と詔りて、天の沼矛を賜ひて、言依さしたまひき。」とあるように、神々が手をとってこの国を修理り固め成したように、私達の御祖神が初めに伝え、示してくださったことは「大きくは国」をもって、近くは「家族」をもって、助け合い生きてゆくことが大切である」ということです。

これは、まさしく今、我々が実践すべきことではないでしょうか。神々がこの国を造られたように、この未曾有の大

震災によって被害を受け、国土的にも人間的にもたゞよへるこの日本を修理り固め成す為に不可欠なのは、一人一人が奉仕の心をもって手を取り、協力しあうこととであります。

当神道青年会と致しましても、震災後迅速に被災地に緊急支援物資を搬送し、現地ボランティアに登録し支援活動をすると共に、神道青年全国協議会及び神青協一部七県協議会の支援活動にも参画して、逸早い復興を願って心を寄せてきました。

また、青年会の歳計調整資金を使い、事業部を中心にお付き合いのある業者にお願いをして、神職支援物資（装束・その他）を安価にてご提供願ひ、被災地域に搬送した次第です。

これら一連の青年会活動については、吉田神社片長をはじめ神社庁役員の皆様方、県内宮司の皆様方の深いご理解と温かいご支援の賜物であります。

古来より、私達日本人は人生の節目において神様へ感謝申し上げ、祈願することによって自らを成長させ、その年齢に添った社会的役割を果たしてきました。

強いて言えば、人生儀礼を行うことで、はじめて奉仕に向う心構えができるのです。

同じように、日常起こる様々な営みに関しても、何が自分出来るのかを見つけて実践していくことが重要であり、自らが幸せに暮らしてゆけることが前提にあり、そこから私達は神々に祈りながら手を取りあつて、この「たゞよへる国を修理り固め成すこと」を全うしてゆくことが復興へ続く光の道であると考えます。

私の任期中況や来期、来々期の五十年は、この震災による復旧復興支援活動を、斯界の尖兵としての気概を持って取り組まなければならないと痛感しております。

被災者の方々の笑顔から幸せを生み出せる日の為に、これからも長期的に被災地に心を寄せ、共に復興への道のりを見守り続けて行く所存です。

祈りをこめて

授与品・記念品御奉製

ハセガワ

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川 和夫

本社 〒114-0004 東京都北区堀船 3-20-13

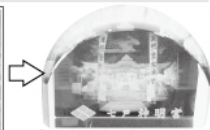
TEL03-3912-6161 (代表) FAX03-3912-3131

草加営業所 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町 466-1

TEL048-921-1221 (代表) FAX048-921-1515

お気に入り写真をルーペに!

東京、神奈川、新潟、秋田、滋賀、鳥取の各神社庁で採用



【七戸神明宮様より御協力頂きました】

お気に入りのデジタル写真をCD-ROMで郵送、またはメール添付で当社へお送り下さい。御本殿、御拝殿、社紋等の陰影もレーザーでそのまま刻める新技術加工です。

100円以上 特別価格 1,200円以上 お値引き 10% (送料別)

http://www5.ocn.ne.jp/~kokudo88/

mail:n-chunrin@vanilla.ocn.ne.jp

〒332-0032 埼玉県川口市中西木3-12-22

FAX(048) 241-8256

コクド環境株式会社

TEL(048) 241-8255(代)

神祭具・御装束・雅楽器類
結婚式場調度

(株) 高善装束店

代表取締役 桑 眞一

〒113-0021 東京都文京区本駒込 3-2-9

TEL 03(5815)8771

FAX 03(5815)8772

御
挨
拶副会長
實 積 章 磨

先づ以って東日本大震災にて被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げますと共に、悲しくも犠牲となられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。そして被災地の一日も早い復興をご祈念申し上げます。

さて、前期に引き続き、今年度、来年度と副会長を努めることとなりました。初めて副会長となった前期には、青年会の各部・各事業を広く見渡し、有意義な青年会活動が展開できるよう会長を支えたいと考えて、努めてまいりました。

この、青年会活動を見渡してきた二年間で大切に感じたことは、人と人とのつながりです。会員、OB、県内神職、そして他県の青年会員との数多くの人と人との結びつきが、会の各活動を発展させ、成功への後押しをしていく様はとて眩しく、心に響きました。

副会長二期目となるこの二年間、人と人とのつながりを育み、潤滑油となつて会の発展に努めてまいります。

今後とも皆様のご指導賜りますようお願い申し上げます。

副会長
二 見 直 樹

先づ以って東日本大震災にて被災された皆々に対して心より御見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をご祈念申し上げます。

さて、此の度は計らずも副会長という大役を仰せつかり、その重責に身の引き締まる思いでございます。なにぶんにも微力非才の身ではございますが、選任されたうちは、實積副会長・佐野副会長とともに、鋭意専心さらなる青年会の発展に一生懸命役職に務める所存でございます。

私の務めは、瀬尾会長を支える補佐役として、又、会員の皆さんが、より良い事業活動を展開するの一助として、お手伝いすることだと思っております。

青年神職であるこの時期を大切に、一つの活動や出会いが、同じ時間を過ごした仲間として、これから後、必ず大きな財産となるはずで、その為にも、会員一人一人が積極的に自ら進んで諸活動に参加しましょう。今だからこそ出来ること、この会だからこそ出来ることがたくさんあります。

この青年会が諸先輩又会員皆様のお力添えをいただき、より良い活動が出来ますようお願い申し上げますとともに、御奉仕神社の益々の栄を、ご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

副会長
佐 野 巖

先づ以って東日本大震災にて被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げますと共に、悲しくも犠牲となられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。そして被災地の一日も早い復興をご祈念申し上げます。

扱、この度計らずも副会長の職を務めさせて頂く事となりました。また併せて神道青年全国協議会地区理事・神青協一都七県協議会副会長という大役を仰せつかり、責務の重さに身の引き締まる思いです。もとより浅学非才の身、力不足ではありますが斯道の興隆、青年会の発展、そして震災復興の為に全力で取り組んでいく所存です。

この二年間、当会では主に渉外部、親睦部を担当致します。どちらも事業により場所や対象は変わる事もありますが、懇親を中心とした事業を展開していく部会です。会員相互の懇親はもとより、OBを始めとする県内神職の方々、神道青年全国協議会・神青協一都七県協議会の同志の方々、内外で当会に関わる全ての方々との懇親を深め、青年会の益々の充実を図っていきたくと考えております。

また、創立六十周年記念事業を完遂し、新たな一歩を踏み出した神奈川県神道青年会が、瀬尾会長のもと会員一丸となつて青年会活動に務められるよう、その為の一助となればと實積副会長・二見副会長と共に

務める所存です。
会員の皆様には、ご理解ご協力と積極的なご参加をお願い致します。併せて先輩諸兄、ご関係の皆様には青年会に対して変わらぬご理解ご支援とご鞭撻をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

六十周年記念事業集大成
是非、御読ください



大切なイメージを
カタチにします。
オリジナルグッズ・記念品

KOWA
KOWA DISPLAY CO., INC.

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002
TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925
ホームページ <http://www.kowa-dsp.co.jp/>

教養部

教養部長 熊谷和真



教養部では、
神職としての
教養、知識を
深めるべく研
修会・講習会
を企画、運営

いたしております。祭式研修会・神宮研
修会・禊練成の三事業を通年の柱に、受
講される皆様にとって魅力ある事業を開
催できるよう務めております。

これまでに、英会話講習、易学講習、
雅楽講習等様々な試みを行ってまいりま
した。各青年会員が時局的、また歴史的
な問題を積極的に考え学ぶ場を設けたい
と考えております。

是非ご意見・ご希望をお寄せ頂き、今
後の参考にさせていただければ幸いです。

研修会は

県内神職皆
様へご案内
いたしてお
ります。今
後も、奮っ
てご参加下
さいますよ
うお願い申
し上げます。



衣紋研修会の様子

渉外部

渉外部長 古木普絵



渉外部は、担
当の佐野副会長
をはじめ、九名
で当会対外部門
として、県内外
での活動を行っ

ております。

県外での活動と致しまして、今年度は佐
野副会長が、神奈川県神道青年会の代表と
して神青協関東地区理事、一都七県協議会の
副会長として出向し、佐野副会長を筆頭に
部員全員で、神道青年全国協議会並びに神
青協一都七県協議会主催の各種事業への参加
をはじめ他単体会・他各種団体との交流の
窓口として活動を行っております。

また、県内での事業として、賛助会員交
歓会、顧問会の担当をさせて頂いておりま
す。多くの賛助会員、顧問の皆様にご出席戴
きますよう運営して参ります。

県外での活動が多い部でございますが、
会の代表として、

様々な交流を深
め、他単体会と
の架け橋として努
力して参りますの
で、ご指導ご鞭撻
の程お願い申し上
げます。



一都七県総会の様子

企画部

企画部長 飯谷秀典



企画部は七
名の副部長と
部長の計八名
で活動してい
ます。

市三ノ宮の御神田を舞台とし、青少年育
成や、神宮・県内神社への献穀を目標に
稲作体験事業を展開しています。

対外的な活動として、春のお田植えと
秋の稲刈りを行います。それに向けて、
企画部員は地主さんの力を借りながら、
クロツケや種蒔き、草刈りや草取りなど
を地道に行います。お田植えと稲刈りで
は子供達と共に農作業をし、それに伴う
神事を体験する事で、日本人の精神文化
の継承を計ります。

また、その折
には神話紙芝居
を青空の下で披
露します。

紙芝居は現在
の親睦部長が作
成しており、既
に六作となりま
した。

どうぞ今後ともよろしく願います。

(田んぼにはカップが出ます)





御社頒授品
御参拝記念品
立派な
金盃

〈営業品目〉

- 交通安全御守護
- 開運招福鈴
- 文鎮 金盃
- 各種記念品類
- 胸像・レリーフ・鑄造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-12-1
TEL. 03-3814-1811(代) FAX. 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp



環境にやさしい
おももりをめざして

京都奉製株式会社

本社
京都府左京区藤原町129-125
電話 075-7433221

東京営業所
東京都足立区保土ヶ谷6-14
電話 03-3884-0012

仙台営業所
宮城県名取市杜せきのした三丁目6-10
電話 022-7166763

福岡営業所
福岡市博多区板付5-3-11
電話 092-5923216

フリーダイヤル
0120-16624

京都府京都市中京区
電話 075-7433221

京都府京都市中京区
電話 075-7433221

京都府京都市中京区
電話 075-7433221

京都府京都市中京区
電話 075-7433221

京都府京都市中京区
電話 075-7433221

IT事業推進部

IT事業推進部長 石原誠人



昨期に引き続きIT事業推進部の部長を務めさせていたいただくことになりました。今期は担当の責務副会長の下、七名の部員で活動しております。

当部では、創立五十周年記念事業の一環として設立されたホームページ、また創立六十周年記念事業にて展開した神奈川の神社参拝スタンプラリーの運用と管理を主に活動しております。

神奈川県下の

の神社の紹介を

はじめ、青年会

活動の告知、報

告等、広く氏子・

崇敬者の皆様に

向けインターネ

ットを用いて発

信をしていきたいと考えております。

今期は昨期より部員が二名増えました。私も二期目となり、新しい試みを考え、時代に合った活動を展開していきたいと思えます。皆様のご要望、ご意見もぜひお寄せ頂きますよう、お願い申し上げます。



青年会HP

親睦部

親睦部長 橋本孝太郎



おります。

会を運営するに於いて最も重要でもある会員同士の交流、そして絆。その関係を和気藹々とした中で深めるべく、各部員寝間を惜しんで企画を練っております。

橋本、橋本、雨、橋本と言われるくらい、いつの間にか親睦一筋で部長という大役まで任せられました。

今年は震災の影響もあり親睦事業も例年より少なくなっており、十二月の忘年会を残すのみとなりました。

是非、

皆様奮っ

てご参加

下さいま

す様お願

い申し上げ

ます。



ボウリング大会の様子

事業部

事業部長 萩原伴雄



この度、総会において事業部の部長を務めさせて頂くことになりました。

私自身は、入会二年目、経験不足と、もとより浅学非才の身ではありますが、部員は経験豊富で頼もしい副部長五名の構成で活動して参ります。

今期、新開発のデザイン神棚「杜」、全国から御注文を頂いております「朱傘」「烏帽子用汗取りパット」をはじめ、様々な神具、調度品等の取り扱いをしております。

本会の財政基盤の充実に資するべく、青年神職ならではの発想で、事業品の販売拡充、新規事業品の企画、開発、頒布、頒布分析管理を活動内容としていきたいと思えます。

皆様の様々な御意見、御感想をお寄せ頂きますよう、お願い申し上げます。



新開発の神棚

代表取締役
可児 錠二

トモ工陶業株式会社
株式会社可児商店

愛知県瀬戸市北瀬町三丁目36番地 〒489-0915
Tel.0561-83-3674(代) Fax.0561-83-4261
E-mail:kani-co@mtf.biglobe.ne.jp
http://www.tomotogyo.jp

誠実奉仕、信用第一

神社本庁 御用達
神學院大學 推薦店
明治神宮 指定店

瀬戸装束店

〔営業品目〕
●神職御装束●神楽装束●神社調度
●祭器具のすべて●神前結婚式場神設設備

東京都中野区中野3丁目10番5号 取引銀行
電話 03-3381-4927 三菱東京UFJ銀行中野駅前支店
〒164-0001 普通預金No.0359145
FAX 03-3381-4927 郵便振替口座 00120-7-557201

「定例総会」

広報部 守屋隆広

平成二十三年五月九日、伊勢山皇大神宮において神奈川県神道青年会平成二十三年定例総会が五十名（委任状六十六通）の青年会員参加のもと開催されました。

正式参拝にて心を一つに守山会長に合わせ拝礼の後、参集殿にて開会となりました。黙祷により東日本大震災にて被災された御霊に哀悼の誠を捧げ、ご来賓の神奈川県神社庁副庁長 佐野主水様よりご祝辞を賜り、瀬尾副会長の開会の辞、神宮遙拝・国歌斉唱・敬神生活の綱領に続き、守山会長の熱い気持ちの表れた挨拶が行われ、次に永井顧問より「何事にも参加することを得られることがある」と青年神職に対して激励のお言葉を頂戴し、議事へと進みました。

議長に賛同

副会長が選任され、平成二十二年活動報告や各種決算・監査報告が行われ、役員改選へと進みました。新会長として先の臨時総会にて選任され



「教養研修会」

教養部 長崎佳範

今回の教養講座「祭式研修会」では、師岡熊野神社の兼務社である諏訪神社にて、神奈川県神社庁祭式講師をお務めになられている石川正人先生を講師にお招きし、「遷座祭」を主題に研修を行いました。

遷座祭とは御神体を遷しかえる時に行う祭儀で、神殿の改築や修理のために一時仮殿へ御神体を遷す、または竣工した新しい神殿に遷す際に行うものです。前者を仮殿遷座祭、後者を本殿遷座祭と呼び、今回の研修では本殿遷

座祭の実技を行いました。

伊勢の神宮が二十年ごとにいらっしゃることにまつて、式年遷宮も、遷座祭の一つということになります。

午前は行事作法などを確認する講義を、午後は実際に行われた遷座祭の映像を見た後、所役が割り振られ実技を行いました。

石川先生が実際に遷座祭を経験されているということもあり、講義では、ただ行事作法をなぞるだけではなく、その時のお話なども一緒に聞くことが出来ました。その時の記録映像を見たところ、参進する祭員の中に総代や工事関係者の方々が入っていたりと、普段行っている祭儀とは異なり、まさに関係する方全員でのご奉仕であると感じました。

祭式研修の主題として「遷座祭」が選ばれるのは、会長のお話によるとおそらく初の試みになるとの事。普段のご奉務の中で実際に行う事は一生に一度あるかないかという祭儀ではありましたが、それが逆に貴重な体験となりました。とても有意義な研修になりました。



内宮に一番近い宿・どなたでもご利用いただけます

早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿

神宮会館

(財)伊勢神宮崇敬会

— ご宿泊に関するお問い合わせ —

〒516-0025 伊勢市宇治中ノ切町152
TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

<http://www.jingukaikan.jp>



株式会社 ユーカワベ

京都店

〒607-8306
京都市山科区西野山中馬井町74-1
TEL 075-501-1411 FAX 075-501-4480
E-mail yukawabe@oak.ocn.ne.jp

東京店

〒113-0021
東京都文京区本駒込1-13-5
TEL 03-3944-9311 FAX 03-3944-9312

<http://www.ootsuki-shozokuten.com>

特集

想像を超えた未曾有の大震災
青年会震災復興支援の記録

被災地で感じた事は、義捐金などで協力することも大事ですが、直接現場に行くこと、直接話を聞くことがとても大切だと実感させられました。まだまだ、復興には遠く、時間のある限りボランティアに行きたいと思います。(利根伸介)

側溝のヘドロ除去作業をさせて頂きましたが、側溝の蓋の移動やヘドロの移動を一日ただけで、ぐつたりしてしまいました。現地の方は、様々な作業を今まで気の遠くなるくらい繰り返してこられたのかと思うと、被災地の方の疲労は推し量れないものだと感じました。今の自分ができることは実際見たことや聞いたことを周りの人に伝えて、震災の関心が無くなってしまうようにすること、またこれで終わりでは無くこれからも関わっていくことだと考えています。(山本喜道)

海に近い地域を見て回りましたが、二階は無傷なのに一階部分が柱を残して何もないような商店が何軒もあり、復興への道程の遠さを感じました。(長崎佳範)



◆ 授与品全般・神具 ◆



創業安政貳年

株式会社秋江

御守袋・錦守・木札・紙札・鯨馬・土鈴
おみくじ・根付・神具・御装束・記念品

〒602-0056

京都市上京区堀川通上立売下ル北船橋町835

TEL 075(432)2255(代) FAX 075(441)8011

<http://www.akie-net.com>

神具具のことなら
民俗工芸にご相談下さい。

御神輿

株式会社
民俗工芸

TEL 0120-534-550
FAX 0120-872-550

〒857-1162 長崎県佐世保市御本町18-1 土曜日も平常通り営業致しております



- ・ 3月23日(水)～24日(木) 宮城県石巻市 鹿島御児神社及び零羊崎神社 支援物資搬送
- ・ 3月23日(水)～24日(木) 宮城県気仙沼市 溝口神社 榊原権禰宜実家神社 支援物資搬送
- ・ 4月7日(木) 宮城県石巻市 鹿島御児神社 支援物資搬送
- ・ 4月8日(金) 岩手県陸前高田市 月山神社 神道青年全国協議会 炊き出し
- ・ 4月13日(水)～14日(木) 宮城県石巻市 鹿島御児神社 神道青年全国協議会 炊き出し
- ・ 4月13日(水)～14日(木) 宮城県石巻市 鹿島御児神社 支援物資搬送
- ・ 6月27日(月) 福島県いわき市久之浜 諏訪神社 神青協一都七県協議会 諏訪神社氏子区域内の民家瓦礫撤去作業
- ・ 7月4日(月)～7日(木) 宮城県石巻市 水明地区 RQ市民災害救援センター 側溝のヘドロ除去作業
- ・ 7月6日(水)～8日(金) 宮城県石巻市 RQ市民災害救援センター 海辺の瓦礫撤去作業
- ・ 7月18日(月) 福島県いわき市 アクアマリンふくしま いわき大祓の会 いわき千度大祓奉仕助勢
- ・ 7月19日(火) 福島県郡山市 福島県神社庁 会で購入した装束等の支援物資を搬送
- ・ 7月20日(水) 福島県いわき市久之浜 諏訪神社 神道青年全国協議会 諏訪神社氏子区域内の民家瓦礫撤去作業
- ・ 9月20日(火)～22日(木) 岩手県大船渡市 神道青年全国協議会 瓦礫撤去作業
- ・ 9月28日(水) 福島県いわき市久之浜 諏訪神社 神青協一都七県協議会 諏訪神社氏子区域内の民家瓦礫撤去作業



繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
授與品の奉製

古都 奈良の
株式会社 大和奉神堂

〒630-8434 奈良市山町782番地
TEL 0742-62-3235(代)
FAX 0742-62-3228

E-mail : hoshindo782@yahoo.co.jp

HomePage : <http://www.yamato-hoshindo.com/>

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製



御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
電話大阪 06-6702-6009(代表)
FAX大阪 06-6797-5460

平成二十三年四月十三日

被災地支援活動

渉外部 志村幸弥

未曾有の大災害と言われた、東日本大震災が起こってから約一カ月後の四月十三日、神道青年全国協議会の取り纏めで、被災された地域へのボランティア活動に行つて参りました。東北へ向かう道は、車が通れるようになったとはいえ、まだまだ地震の爪痕を残している所も多く、大変な道でのりでした。

活動の内容は、炊き出しでした。食べるものにはあまり困っていないという話でしたが、おにぎりやパンがほとんどで、温かいものを口にする事が余りないと聞き、ならば、温かいものを召し上がって頂くこうとバーベキューを行う運びとなりました。

当日早朝、活動拠点となる石巻市鹿島御児神社へ集合し、震災の当日の話、被災地の現状の話、被災地の話を聞き、それぞれの思いを胸に、三カ所の活動場所へと移動しました。それぞれの活動場所となる神社の社殿の前で大祓を奏し、



拝礼を致しました。この度、震災



した。その後、バーベキューの準備の前に一度集合し、神青協の春木会長からのお話があり、それぞれの持ち場の準備に移りました。私達神奈川県に割り振られた

役割は、炭の火起しでした。なかなか火の付かない炭に悪戦苦闘しながらも、なんとか時間までに必要な火が出来た時はホッと胸をなでおろしました。

炊き出しには氏子さん達が大勢お越しになり、二〇〇食分用意してあった食材は、終了予定時刻よりも前に無くなりました。来て頂いた皆様には、温かな食事ができて嬉しい、ありがとうございます、感謝の言葉を頂きました。中には、家を失つてどうしていいのかわからないと仰る方もおり、被災者の現状の生の声を聞かせて頂きました。



災害支援活動に参加させて頂きまして、大変得難い、貴重な経験をさせて頂いたと思っております。今回の支援でどれだけの事が出来たのか、また、それが被災された方々へ、どの程度役に立ったのかはわかりませんが、ほんの少しでも、私達の力と気持ちが届いていれば誠に幸いです。一日も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。



神奈川神社庁御用達

株式会社 クレックス

代表取締役 近藤 榮雄

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂七六九番地
電話 ○四二二七八八四九一〇
FAX ○四二二七三三二五六三

御装束・御 簾・神 輿
神 祭 具 調 度

宮内庁御用達 京装束・京神具の店

有限会社 竹 重

〒600-8324 京都府京都市下京区東側町510番地

Tel 075-371-0394 (代)

Fax 075-341-6966

ご注文専用フリーダイヤル 0120-37-0394

この国の佳き伝統とともに

150th

株式会社 宮本卯之助商店

創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売

〒111-0035 東京都台東区西浅草2-1-1

tel. 03-3844-2141 fax. 03-3842-6730

www.miyamoto-unosuke.co.jp

事務局 山本喜道

ました、
東京都神
道青年会
の矢野幸
士会長を
始め、当
日お世話
になりました
の会員
の方々へ
厚く御礼
を申し上げ
ます。



日本の伝統文化は日本の心と技で護り、継承いたします



日本奉製株式会社

神社仏閣授与品奉製 各種提灯 製造販売



〒834-0046
福岡県八女市国武 341 番地
TEL 0943-25-2355
FAX 0943-25-2356
Email shinto@nihonhousei.net

青年会製作遷宮募金箱による奉賛協力神社名簿

(敬称略・順不同)

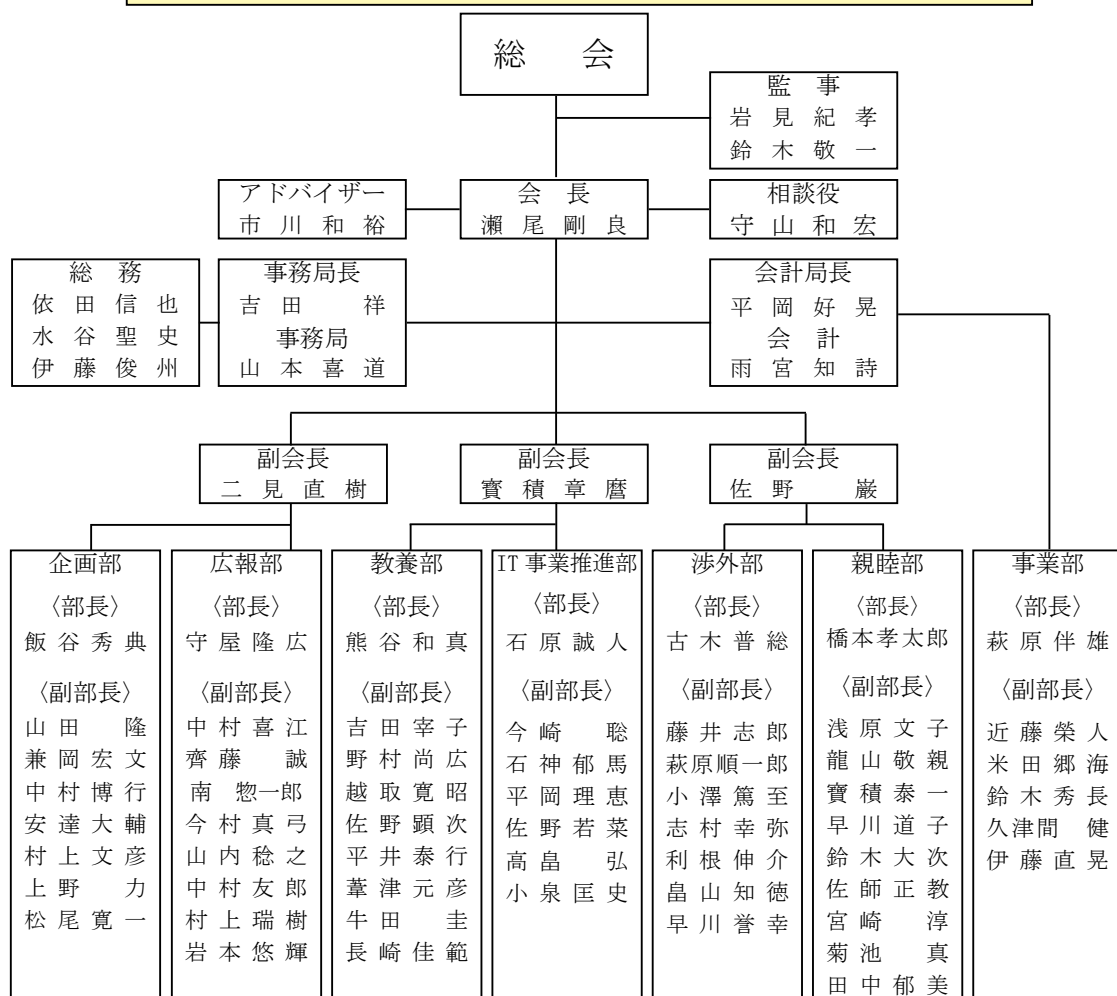
	支 部	神 社 名	横 浜 中	鎌 ・ 横 ・ 三	天 神 社	相 模 中 連 合	春 日 神 社
川崎	女狹大神	横浜中	三島神社	鎌・横・三	天神社	相模中連合	春日神社
川崎	天照皇大神	横浜南	杉山神社	鎌・横・三	海南神社	相模中連合	前鳥神社
川崎	住吉神社	横浜南	日枝神社	相模湘南	江島神社	相模中連合	日向神社
川崎	稻毛神社	横浜南	八幡神社	相模湘南	白旗神社	相模中連合	堀之郷正八幡宮
川崎	白幡八幡大神	横浜南	日枝大神	相模湘南	熊野神社	相模中連合	御嶽神社
川崎	若宮八幡宮	横浜南	八幡神社	相模湘南	腰掛神社	相模中連合	平塚八幡宮
川崎	日枝大神社	横浜南	堀之内稲荷神社	相模湘南	鵜沼伏見稲荷神社	相模中連合	高来神社
川崎	白髭神社	横浜南	富岡八幡宮	相模湘南	鶴嶺八幡社	相模中連合	川勾神社
川崎	溝口神社	横浜南	瀬戸神社	相模湘南	第六天神社	相模中連合	八幡神社
横浜北	熊野神社	横浜南	白旗神社	相模中央	寒川神社	相模中連合	大山阿夫利神社
横浜北	日枝神社	横浜南	住吉神社	相模中央	鈴鹿明神社	相模中連合	六所神社
横浜北	潮田神社	横浜南	浅間神社	相模中央	中津神社	相模中連合	白笹稲荷神社
横浜北	一之宮社	横浜南	春日神社	相模中央	座間神社	足柄小田原	大稻荷神社
横浜北	熊野神社	横浜南	熊野神社	相模中央	神明社	足柄小田原	足柄神社
横浜北	杉山神社	横浜南	岡村天満宮	相模中央	八音神社	足柄小田原	三島神社
横浜北	大綱金刀比羅神社	横浜南	青木神社	相模中央	五辻神社	足柄小田原	熊野神社
横浜北	王子神社	横浜南	羽黒神社	相模中央	弥生神社	足柄小田原	菅原神社
横浜北	笠稗稻荷神社	横浜南	富塚八幡宮	相模中央	龍藏神社	足柄小田原	寄神社
横浜北	篠原八幡大神	横浜南	神明社	相模原	熊野神社	足柄小田原	箱根神社
横浜北	師岡熊野神社	横浜南	中村八幡宮	相模原	川尻八幡宮	足柄小田原	五所神社
横浜北	菊名神社	横浜南	五霊神社	相模原	亀ヶ池八幡宮	足柄小田原	宗我神社
横浜北	日吉神社	横浜南	金刀比羅神社	相模原	村富神社	足柄小田原	報徳二宮神社
横浜北	醫藥神社	横浜南	杉山神社	相模原	氷川神社	足柄小田原	居神社
横浜中	伊勢山皇大神宮	横浜南	若宮八幡宮	相模原	中野神社	足柄小田原	白髭神社
横浜中	橘樹神社	単立	相州春日神社	相模原	根小屋諏訪神社	足柄小田原	五所八幡宮
横浜中	淺間神社	単立	鎌倉宮	相模原	春日神社	足柄小田原	八幡神社
横浜中	御靈神社	鎌・横・三	鶴岡八幡宮	相模原	皇武神社	足柄小田原	貴船神社
横浜中	八幡社	鎌・横・三	八雲神社	相模原	與瀬神社	足柄小田原	子之神社
横浜中	杉山社	鎌・横・三	稻荷神社	相模原	石楠尾神社	足柄小田原	素鷲神社
横浜中	皇太神宮	鎌・横・三	叶神社	相模中連合	比比多神社	足柄小田原	紀伊神社
横浜中	天満宮	鎌・横・三	春日神社	相模中連合	比比多神社	足柄小田原	寒田神社
横浜中	八幡神社	鎌・横・三	森戸大明神	相模中連合	高森神社	足柄小田原	
横浜中	神明社	鎌・横・三	雷神社	相模中連合	伊勢原大神宮	足柄小田原	
横浜中	杉山神社	鎌・横・三	諏訪神社	相模中連合	曾屋神社	足柄小田原	

総計 3、633、875円

御奉賛賜り厚く御礼申し上げます



平成23年度 神奈川県神道青年会組織図



神道青年全国協議会	代 議 員	瀬尾剛良
神道青年全国協議会	代 議 員	實積章磨
神道青年全国協議会	代 議 員	吉田 祥

神道青年全国協議会	関東地区理事	佐野 巖
神道青年全国協議会	時局対策委員	守屋隆広
神道青年全国協議会	遷宮啓発委員	小澤篤至
神青協一都七県協議会	事 務 局	古木普総



かもめん

編集後記

今期より広報部長という大役を仰せつかり、広報部の一員として多くの場所に取材のために出向致しました。特に東日本大震災による、東北・北関東地区の甚大な被害は今も復興までの道筋が見えない程の状況であることを現地に赴く度に痛感しています。会報53号では、青年会員が現地にて見た状況を皆様にも共有していただき、今後も変わらずご支援賜りたく、特集として支援活動の様子を取上げ、現地の状況が解りやすいよう会報初のフルカラーによる発刊と致しました。多くの御協賛により、このような形にて発刊する事ができましたことに、御協賛業者の皆様には心より感謝申し上げます。また、広報部の皆様には、未熟な私を支えていただき、感謝申し上げます。次号においても、青年会員だからこそこの記事が掲載できればと思っております。今後ともご協力をお願い申し上げます。(守屋隆広)

